



2026年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月10日

上場会社名 エコートレーディング株式会社
コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 実
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理・システム本部長 (氏名) 小野 善治
半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年11月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年3月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	52,875	0.9	677	20.0	680	20.1	454	35.9
2025年2月期中間期	53,371	0.4	847	18.9	852	19.5	708	4.5

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 534百万円 (22.6％) 2025年2月期中間期 690百万円 (13.0％)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	75.24	—
2025年2月期中間期	117.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期中間期	39,885	11,919	29.9
2025年2月期	34,065	11,479	33.6

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 11,906百万円 2025年2月期 11,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2026年2月期	—	15.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 2月期の連結業績予想(2025年 3月 1日～2026年 2月28日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	114,000	7.2	1,450	6.7	1,459	6.6	973	2.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	6,075,546 株	2025年2月期	6,075,546 株
期末自己株式数	2026年2月期中間期	40,325 株	2025年2月期	39,485 株
期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	6,035,556 株	2025年2月期中間期	6,005,472 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が進むなど各種政策の効果もあって、緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや金融資本市場の変動による景気への影響、継続した物価上昇が消費者心理に与える影響など今後の動向に十分注意する必要があります。先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ペット業界におきましては、健康維持や快適な生活環境を重視するペットオーナーに向けた高付加価値商材の伸長等により、継続的な市場成長を果たしておりますが、犬の飼育頭数減少や様々な物価上昇に伴う生活者の節約意識の高まり、人件費・原材料費・物流費などのコストの増加、流通各階層での価格競争など、ペット市場を取り巻く経営環境は依然として厳しい環境が続いており、既存の製品やカテゴリーにおける着実な利益獲得と共に、新たな成長戦略の構築が必要になっております。

当連結会計年度は現中期経営計画の最終事業年度であるとともに、2027年2月期から始まる次期中期経営計画の実現に向けた変革期とし、「選択」と「集中」をキーワードに当社グループにおける事業セグメントから日々の業務に至るまで、徹底的なローコストオペレーションを目的に見直しを行っております。

また、人的資本経営の一環として人材育成を目的とする社員への更なる投資を継続するとともに、本年度より新たな取り組みとして開始したサステナビリティ活動は、推進部会を中心に更なる強化に向け、社員ひとりひとりが参加する活動を継続しております。

成長戦略としては、デジタル化社会での経営戦略として「CED (Communication, Education/Entertainment, Design)」をコンセプトにおいた事業展開を更に推し進めることで他社との違いを明確にし、世界に発信できるマーケティング・デザイン・カンパニーとして、あらゆる角度からお客をサポートしてまいりました。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、トップラインの拡大と単品管理の徹底により安定した利益を創出するとともに、市場創造としては、飼育者の新習慣による市場の拡大を目的に様々な企画・提案活動を行っております。

イベント事業につきましては、『みんな大好き!! ペット王国2025』を2025年5月3日から4日にかけて開催いたしました。ペットとの生活の素晴らしさや、ペットと暮らす効用を実感・体験出来る『人とペットのふれあいの場』を提供するイベントとして本年も多くの生活者様にご来場頂いております。本年は新たな試みとしてペット目線での気づきを体験するコンテンツ「ペットのきもち研究所」を実施し、体験した生活者の方だけでなくお得意先からも高評価を頂き、開催日以降、様々なイベントや店頭での実施が複数決まっております。

一方、ペッツバリュー株式会社では、店舗開発事業におけるサービスレベルを向上させることに注力したものの、契約形態の一部変更等により管理店舗数は212店舗となっております。また、商品開発部では既存商品の拡販に努めるとともに、「あ!これいいね」をコンセプトに生活者に支持される価値ある商品開発を継続しており、ペットの抜け毛対策シリーズ第二弾として『毛が付きにくく、取れやすくなるスプレー』のリニューアル商品および人気ブランド『激落ちくん®』とのコラボ商品『わんだふるクリーにゃー』を2025年10月に上市いたします。

株式会社I&Iでは、お客様へのプロモーション戦略の強化並びに新たなチャネル開拓へ注力し、卸売事業として商品に様々な価値を付け、お客様の心を惹きつける販売促進企画に注力いたしました。また、お客様のウォンツを叶える商品をお届けすべく立ち上げたオリジナルブランド『ShareZ (シェアーズ)』からも、第二弾商品として冷凍製法のペットフード(フレッシュミール)となる『ShareZ まごころごはん』を2025年10月以降、店頭または専用サイトにて順次販売開始いたします。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの売上高は、一部のお得意先様における取引内容の変更等により528億7千5百万円(前年同期比0.9%減)となりました。また、継続的な売上・利益成長を見据え、インフラ構築としての物流センター並びに各種設備への投資、人的資本経営の実践による社員のエンゲージメント向上や次世代を担う多様な人材の確保などを行った結果、営業利益は6億7千7百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

経常利益は6億8千万円(前年同期比20.1%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は4億5千4百万円(前年同期比35.9%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ58億2千万円増加し、398億8千5百万円となりました。これは、主に現金及び預金が19億1千6百万円、受取手形及び売掛金が31億1千万円、商品が1億9千3百万円、未収入金が3億8千6百万円、投資有価証券が1億2千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

受取手形及び売掛金が増加した要因は、主に当中間連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日

に銀行振込で回収予定の売掛金の回収が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ53億8千万円増加し、279億6千5百万円となりました。これは、主に短期借入金が16億円減少したものの、支払手形及び買掛金が60億5千1百万円、未払金が8億2千2百万円それぞれ増加したことによるものであります。

支払手形及び買掛金が増加した要因は、主に当中間連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で支払予定の買掛金の支払いが、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億4千万円増加し、119億1千9百万円となりました。これは、主に利益剰余金が3億6千3百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月11日付「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,221,255	6,137,404
受取手形及び売掛金	21,821,703	24,932,393
商品	3,286,631	3,479,877
貯蔵品	8,007	7,926
未収入金	2,557,224	2,943,445
その他	112,349	117,301
貸倒引当金	△16,821	△5,518
流動資産合計	31,990,350	37,612,830
固定資産		
有形固定資産	961,984	966,046
無形固定資産	133,934	208,149
投資その他の資産	979,166	1,098,580
固定資産合計	2,075,086	2,272,777
資産合計	34,065,436	39,885,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,101,321	21,152,955
短期借入金	3,250,000	1,650,000
未払金	3,139,493	3,962,322
未払法人税等	286,006	239,393
賞与引当金	131,499	90,622
役員賞与引当金	42,500	—
その他	255,566	414,978
流動負債合計	22,206,388	27,510,272
固定負債		
その他	379,455	455,708
固定負債合計	379,455	455,708
負債合計	22,585,843	27,965,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,012,726	2,012,726
資本剰余金	1,977,314	1,977,141
利益剰余金	7,247,096	7,610,688
自己株式	△45,384	△45,384
株主資本合計	11,191,752	11,555,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,916	351,517
その他の包括利益累計額合計	268,916	351,517
非支配株主持分	18,922	12,939
純資産合計	11,479,592	11,919,627
負債純資産合計	34,065,436	39,885,608

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	53,371,186	52,875,640
売上原価	47,238,109	46,873,780
売上総利益	6,133,076	6,001,859
販売費及び一般管理費	5,285,863	5,324,269
営業利益	847,212	677,589
営業外収益		
受取利息	775	854
受取配当金	7,598	7,955
業務受託料	12,802	15,329
その他	7,888	6,476
営業外収益合計	29,065	30,616
営業外費用		
支払利息	11,394	22,672
その他	12,749	5,074
営業外費用合計	24,144	27,747
経常利益	852,134	680,458
特別利益		
固定資産売却益	205,765	—
特別利益合計	205,765	—
特別損失		
固定資産除却損	919	134
特別損失合計	919	134
税金等調整前中間純利益	1,056,981	680,323
法人税、住民税及び事業税	264,202	199,130
法人税等調整額	85,712	29,526
法人税等合計	349,915	228,656
中間純利益	707,065	451,667
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△974	△2,465
親会社株主に帰属する中間純利益	708,040	454,132

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	707,065	451,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,897	82,600
その他の包括利益合計	△16,897	82,600
中間包括利益	690,168	534,268
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	691,143	536,733
非支配株主に係る中間包括利益	△974	△2,465

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,056,981	680,323
減価償却費	35,819	46,299
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,331	△11,303
賞与引当金の増減額(△は減少)	△124,965	△40,877
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△85,000	△42,500
受取利息及び受取配当金	△8,374	△8,810
支払利息	11,394	22,672
固定資産売却益	△205,765	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,579,126	△3,110,690
棚卸資産の増減額(△は増加)	△585,422	△193,165
未収入金の増減額(△は増加)	△443,300	△389,475
仕入債務の増減額(△は減少)	6,038,643	6,056,887
未払金の増減額(△は減少)	965,766	884,203
未払消費税等の増減額(△は減少)	△99,322	55,037
その他	△1,868	84,839
小計	3,981,790	4,033,441
利息及び配当金の受取額	8,374	8,810
利息の支払額	△12,118	△19,396
法人税等の支払額	△249,806	△254,392
法人税等の還付額	—	9,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,728,239	3,777,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,930	△7,605
有形固定資産の売却による収入	454,100	—
無形固定資産の取得による支出	△6,679	△143,001
投資有価証券の取得による支出	△5,262	△5,301
投資有価証券の売却による収入	—	4,203
その他	22,964	△3,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	439,192	△154,942
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3,691
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,500,000	△1,600,000
配当金の支払額	△112,156	△90,517
その他	△11,170	△12,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,623,327	△1,706,896
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,544,104	1,916,148
現金及び現金同等物の期首残高	4,060,023	4,221,255
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,604,128	6,137,404

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自2024年3月1日 至2024年8月31日)及び当中間連結会計期間(自2025年3月1日 至2025年8月31日)

当社グループは、ペット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。